

2005年11/16(水)

【時間】10:00～16:00(15:30受付終了)

【会場】横須賀市長瀬3-1-1

入場無料

申込不要

雨天実施

今から152年前の西暦1853年、
アメリカのペリー提督が上陸した久里浜湾に位置する研究所です。
港湾、海岸、空港の整備や沿岸域の防災、
海の環境保全に関する研究を実施しています。

ふだんは見られない研究施設を公開します。

～市民講座同時開催～

★アンケートにお答え頂いた方に記念品プレゼント★

市民講座内容

- 10:30～10:50 「美しい東京湾をとりもどすために」
(国土技術政策総合研究所 海洋環境研究室室長 古川 恵太)
- 10:55～11:15 「生活を支える国際コンテナ輸送」
(国土技術政策総合研究所 港湾システム研究室研究官 小島 肇)
- 11:20～11:40 「最近の空港ターミナルビルの事情」
(国土技術政策総合研究所 空港ターミナル研究室研究員 宇城 真)
- 11:45～12:05 「津波・高潮から身を守るには」
—津波・高潮ハザードマップと動くハザードマップの開発—
(国土技術政策総合研究所 沿岸防災研究室研究官 龍谷 兼太郎)
- 13:00～13:20 「GPS津波計を用いたスーパーナウファス構想」
(港湾空港技術研究所 海象情報研究室室長 永井 紀彦)
- 13:25～13:45 「最近の港湾における波浪災害」
(港湾空港技術研究所 波浪研究室室長 平石 哲也)
- 13:50～14:10 「港湾工事の無人化を実現する技術」
(港湾空港技術研究所 施工・制御技術部新技術研究官 加藤 英夫)
- 14:15～14:35 「沿岸域における埋立の歴史と自然再生への取組み」
(港湾空港技術研究所 土質研究室室長 渡部 要一)

公開施設の一部を紹介



X線CT試験装置



市民講座



干潟実験施設



航空機荷重載荷装置

昨年の秋の一般公開 来場者の声

- 研究所では非常に多くの実験や研究が行われていることがわかりました。大学の勉強の一貫としてでなく、生活する上で重要な情報をたくさん得ることができたと思います。(20代・女性)
- 港湾に関する最新の研究の一部が見学でき、純粋に興味を持って楽しめた。特にロボットに関する研究に興味をひきました。(30代・男性)
- 非常に分かりやすい市民講座でした。(60代・男性)
- 研究員の方から、直接話しが聞けるのが良かった。(60代・女性)

研究所案内図

「京急久里浜駅～会場：徒歩約25分」



品川・東京駅～会場アクセス



バス時刻表

京急久里浜駅東口2番のりば		
久里浜 久里浜駅 千代ヶ崎 清見岡駅前 経由	久里浜 野比海岸行	
9	22	45
10	2	15 45
11	5	28
12	0	29
13	0	30
14	10	0 42
15	0	30
外ヶ崎下車 徒歩約1分	関国橋下車 徒歩約5分	

※野比海岸行は京急久里浜駅出発の2分後、JR久里浜駅を経由しますのでJRでお見えの方はそこからのご乗車になります。(JR久里浜駅5番のりば)

★海の見える食堂もご利用頂けます。★駐車スペースは限りがございますので公共交通機関をご利用下さい。

問い合わせ

独立行政法人港湾空港技術研究所
TEL:046-844-5040 (企画課)
<http://www.pari.go.jp/>

国土交通省国土技術政策総合研究所
TEL:046-844-5019 (企画調整課)
<http://www.ysk.nilim.go.jp/>